

としょかんだより

令和 2年 2月 3日 久山町立久原小学校
学校司書 横山 柳子



図書委員会では、1月から2月の昼休みに、各教室で読み聞かせを計画しています。
低学年から高学年を対象に行います。
みなさん、ぜひ参加してくださいね！

本を大切にあげよう

おうちに本を持って帰って読むとき、よごれた手のままだったり、ごはんやおかしなどを食べながら本を読んでいませんか？もどってきた本に、よごれがついていたり、食べ物のカスのはさまっているのをみかけることがあります。次に本を読む人が気持ちよく読書ができるように、本を大切にあげようね。

節分（鬼）の本

今日（2月3日）は、節分ですね。図書館では、節分にまつわる話や鬼がでてくる本をあつめてならべています。



節分（鬼）の本を紹介します。気に入った本があれば、読んでみてくださいね。



『まゆとおに』

やまばのむすめ、まゆは、ある日鬼と出会いますが……。まゆを食べようとする鬼と、それに気づかず、楽しく遊ぼうとするまゆがとってもかわいくて、楽しい本です。



『せつぶんだ まめまきだ』

せつぶんに、なぜ豆をまくのか、どんなかざりをするのか、などがわかりやすく書いてありますよ。



『おにむすめ』

せつぶんの夜、泣いている鬼をお父さんが家の中へ入れてしまって……。ちょっと変わった、鬼のお話です。こんなせつぶんも、楽しいかも？



『おにのめん』

親元をはなれて働いているお春。ある日、大事にしていたお面が鬼のお面になってしまって……。親思いのお春と、まわりの人々との心あたたまる、でも最後は大笑いできるお話です。



『おに』

小さな島に、ひとりぼっちで住んでいるおに。でも人間はおにをこわがって、友だちになってくれません……。ちょっとさみしくなってしまうけど、みなさんに読んでほしい本です。

